



gRPC ネットワーク操作

- [gRPC ネットワーク操作インターフェイスの更新 \(1 ページ\)](#)
- [GNMI ブローカ \(GNMIB\) の更新 \(1 ページ\)](#)

gRPC ネットワーク操作インターフェイスの更新

gNOI (gRPC ネットワーク操作インターフェイス) は、OS のインストール、アクティベーション、検証といったネットワークデバイス上の操作コマンドや手順を実行するための gRPC ベースのマイクロサービスセットを定義します。

gNOI を通じて `os.proto` は、OS のアクティベーション、インストール、詳細な概要、OS の内部コマンドなどのオペレーティングシステム関連のタスクを実行し、さらに OS 操作の概要を出力することができます。

また、gNOI `os.proto` を使用して、`gnmib` の詳細な状態を表示したり、`gnmib` の動作統計を確認したり、修飾子を出力することもできます。

GNMI ブローカ (GNMIB) の更新

GNMI ブローカ (GNMIB) が拡張され、gRPC ネットワーク操作インターフェイス (gNOI) `reset.proto` サービスをサポートするようになりました。このサービスは、gRPC を介してデバイスを工場出荷時の初期状態に復元する機能を提供します。

サービスが実行されると、「`factory-reset all`」コマンドと同様に動作し、その後リロードがトリガーされます。さらに、このサービスは現在起動されているイメージを維持します。`reset.proto` サービスに準拠するために、以下の追加の手順が実行されます。

- `rommon` BOOT 変数を現在起動されているイメージに設定し、工場出荷時の状態へのリセット後にリロードするまでそれを維持します
- 自動ブートを有効にして、工場出荷時の状態へのリセット後に現在起動されているイメージでデバイスを起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。